

千寿の郷 かわら版 納涼特大号

介護老人保健施設 千寿の郷

足立区柳原2-33-6

TEL 03-3870-4621

FAX 03-3870-5228

2009年8月10日123号

ホームページ⇒ <http://senjyunosato.kenwa.or.jp/> ☆千寿の郷ブログ毎週更新中
ホームページよりアクセスしてください！

納涼祭

7月25日、「ドーン、ドーン」と大きな太鼓の音で幕が上がり、千寿の郷毎年恒例の「納涼祭」が始まりました。「なぎさ太鼓」による幕開け演奏は、太鼓の音が足の先から頭の上まで響き、会場の皆様は太鼓の迫力に圧倒されました。



テーブルの上には、栄養課の職員が腕によりをかけたボリューム満点のご馳走やお酒などもご用意しました。地域の方や御家族の方も大勢参加されて、大盛り上がりでした。



「なぎさ太鼓」と「香雪会」による盆踊り。太鼓と踊りが夏を感じさせてくれました。浴衣姿の方、変装をしている職員、利用者様やスタッフが次々と輪に加わり、会場全体が盆踊りの雰囲気につつまれ、見ていている方も楽しむ事が出来ました。

利用者さん、御家族、ボランティアの方々、地域の方々、職員の交流する場でもある納涼の集いは、お酒が入ったこともあり、話もし心も弾んでいました。

皆様、笑顔で納涼の集いを楽しみながら、第1部が終了しました。





第2部は千寿の郷の名物の寿バンドの演奏で、スタートしました。今年は千寿の郷を卒業した職員が数名有志で参加し、歌に演奏にと大いに盛り上げてくれました。「青い山脈」、「あこがれのハワイ航路」など、昔なつかしの歌を、利用者様と共に合唱しました。

寿バンドの演奏で盛り上がってきた所で、納涼祭といえばこの方々！香雪会の皆様による優雅な日本舞踊が披露されました。見ている方も一緒に参加出来るように、振り付けをわかりやすく説明してくださったので、会場の皆様も一体となって踊っていました。



恒例の新人紹介を兼ねた新人の出し物は、例年にぎやかな企画が多いのですが、今年は趣向をかえて、ハンドベルで「茶摘」と「海」の演奏を披露しました。この時の新人の衣装は、お面を被り愉快な格好で登場した為、会場は笑いに包まれました。参加者の方々は、茶摘のメロディーを聞きながら、一緒に歌っていました。

大きな盛り上がりを見せたのは、プリンセス、スパイダーマン、ミニスカート(男性職員)など、個性的なコスプレ姿で出場した、デイサービス職員によるダンスでした。

レベルの高いダンスで、会場の盛り上がりは最高潮となりました。



祭の最後は、長島前施設長作詞の「郷の春」を“北国の春”のメロディーにのせて歌いました。会場の参加者がひとつになっての合唱で、一味違う格別な歌声となりました。今年は、納涼祭参加者が共に歌い、共に踊り、例年と比べ、ますます「一体感」を感じられるものとなりました。

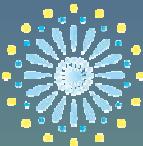
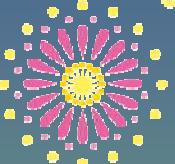
ボランティア・地域・友の会のみなさんのご協力により、今年も大成功を収めることができました。また、遅くまでお付き合いいただいた利用者様やご家族のみなさまにも職員一同感謝申し上げます。ありがとうございました。



(ケアワーカー柳田・山田)



千寿の風物詩 足立の花火大会



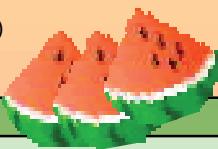
7月23日(木)に毎年恒例の荒川河川敷での足立の花火大会がありました。

当初、千寿の郷でも、近くの土手まで入所中のご利用者様と花火を見に行く予定でしたが、あいにくの雨により安全を考慮し、千寿の郷の屋上にて見学となりました。

普段は使用しない屋上が皆さんの期待で活気付き、みんなの願いが通じたのか、花火が始まると小雨も止みました。夏の夜空に、赤や黄色や緑と色取り取りの綺麗で迫力のある花火を眺める事が出来ました。

利用者様、職員共に夏の夜の風物詩をじっくりと味わい、楽しめた夜となりました。

(ケアワーカー 石田)



晴天日 睡蓮の花バナ涼しげに
納涼祭 歌と踊りに明け暮れて
通所利用 久保田珠恵様

川ばたで 蛙お見合い 後を押す
クレヨンの 色が連なり 花菖蒲
入所利用 高野良子様

夏の夜 ライトの光 螢火だ

季節の目標 葉月

- 《8月の行事予定》
- 13日(木) かっこう
 - 19日(水) あめんぼサークル
 - 22日(土) 香雪会
 - 25日(火) 秀則会、居酒屋
 - 28日(金) フラワーアレンジ
- 月曜日：手工芸
木曜日：コーヒーサービス
金曜日：書道(第1、3のみ)



千寿色彩



一年前半前からデイケアで勤務をしています鎌塚です。
千寿の郷に入職して?年(笑・笑)2階、3階の入所を経験し柳原リハビリテーション病院のほうでもお手伝いさせていただきました。
千寿の郷では様々な経験をしてきました。大笑いしたり、大泣きをすること色々です。皆さんととても大切な時間を過ごさせていただいています。
今の私の自慢は、素晴らしい利用者様に出会えたことと、頑張る職員に出会えたことです。千寿の郷の職員は利用者様のことを真剣に考え課題に向き合っています。そんな中で働いていることを光栄に思います。
これからも“みんなの笑顔がみたいから”を大切に皆さんと過ごせたらと思います。

家族懇談会のお知らせ

日頃より、千寿の郷をご利用いただきありがとうございます。

9月27日(土)に「家族懇談会」を開催いたします。どうぞお気軽にご参加ください。
参加を希望される方は申込用紙にご記入ください。(受付にて配布中です。)みなさまとの懇談を職員一同楽しみしております。

内容 ①ご利用者様の様子

(ホームページを使用して紹介します)

②意見交換

日時 9月27日(土)
14時~16時



利用者様作
6月の作品



千寿菜園



たくさん採れました。



晴耕雨読

おもしろき こともなき世を
すみなしものは 心なりけり

高杉 晋作

『今月の格言』



8月になり本格的な暑さを感じられる今日この頃。仕事を終えた後のビールは、他の季節に感じられない感動を与えてくれます。

私の生まれた山形県鶴岡市では、名産の『だだちゃ豆』がそろそろ最盛期を迎えます。ビールと枝豆って最高ですよね！！

今年は、収穫の喜びも味わえるように、田舎に帰って畠仕事でも手伝ってみようかなと思っています。(事務 水野 千鶴)